

# スクールカウンセラーたより 8

秋ですね。山が少しずつ色づいてきました。綺麗な自然を前にし、ゆっくりとした時間を持ちたいですね。

さて、豊かな自然の中で様々な体験を重ね、そこで気づいた様々な思いを表現できると感情も豊かになってくると思います。言葉で豊かに表現できると良いのですが、それも苦手な子もいます。言葉の発達は子どもによって様々です。

その子どもの特性に合わせて、少し言葉を育てることを考えてみます。

## 話すことが苦手な子は絵で表現させても良いと思います

子どもによっては話すことが苦手な子もいます。でも、そういう子ほど感受性は豊かで、様々な思いを持っています。そんな思いを絵に表現させてから、少し話をしてみると意外と様々な話をしてくれることが多いです。絵にしていきながら様々な思いを心の中で言葉にして考えているからです。思いを流暢に話すことは苦手かもしれませんが、絵にしていくなかで、思いを整理することができ、言葉で表現しやすくなるからです。

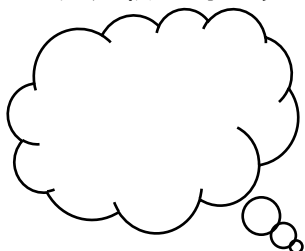
一緒に絵を描きながらお話をしていくのも良いかもしれませんね。



## アニメの吹き出し風にしても面白い

作文が苦手という子どもは沢山います。ただし、そんな子でもおしゃべりは好きな子は多いと感じています。自分の思いを「こんなふうと思うのだけど・・・」と話せるものの、作文用紙に向かうと「さて、どう書いたらいいんだ？」と戸惑ってしまう子は沢山います。

そういう子に、アニメ風に様子を簡単に絵に描かせて（棒人間でも大丈夫）、その場面に吹き出しを書きたしてあげ、吹き出しの中に思いを話し言葉で書かせてみると意外と書ける子も多いです。その話し言葉で書けた内容を少し整理してあげると、しっかりした作文になる事も多いように思います。吹き出しという枠を作ってあげる事で書きやすくなるようです。



## メモ {短冊} で、文章力を育てよう

思ったことをメモする習慣も大切だと思います。特に、考えることよりも行動が先になってしまう、落ち着きの無いタイプは、メモすることで一度記憶にとどめることにつながり、次の行動を考えるきっかけにもなります。失敗も少なくなると思います。



どんなことでも書き留める習慣があれば思い出すきっかけにもなります。また、メモがあればそれを作文の課題などに広げていく事も可能です。

できればメモをとる習慣をつけたいです。また、そのメモが文章力につながっていく事にもなります。

## お話作りを楽しみましょう

あるお母さんは一緒に散歩しながら、道ばたにある草花からイメージを広げ、一緒にお話作りを楽しんでいました。また、空に浮かぶ雲を見ながら「～パンに似ているね」と、様々な雲の形を、いろいろなパンに見立て、お話を広げていきました。

何気ないことからお話作りを楽しむのも、子どもの想像性を育む一歩になりますね。雑誌などを一緒に見ながらお話を広げていくのも良いかもしれません。どんなことからでも想像性を育むことはできるように思います。

短時間でも大丈夫です。大切なのは、余裕を持って、イメージ豊かに、ジョークを楽しみながら話しかけることだと思います。



### 言葉を増やしていきたい

子どもたちは、生活の中で様々な言葉を獲得していきりますが、時々間違った使い方をしてしまう場面もあります。そんなときにすぐに言い直しを求められると、子どもの中には間違えたという思いにつながり、次は間違えてしまわないか、不安感の中で自由に自分の思いを話せなくなってしまう子もいます。

間違えたときには、ストレートに指摘しないで、「こういうことを言いたいのかな」と一度受けとめてあげると、本人の中で整理する時間ができてプライドは保てるようです。また違う言葉を付け足してあげたり、違う言い回しで表現してあげたりすると語彙を豊かにしていくこともできると思います。



雨が降っているね → そうだね。すごい雨だね

お花が咲いているよ → そうだね。綺麗なお花だね

「すごい」とか「綺麗な」というような言葉を付け足しただけでも、自分の思いを受けとめてもらえたという思いとともに、新しい表現を獲得し語彙も豊かになってくると思います。

### ゲーム感覚で言葉を育てたいですね

子どもたちはスマホやパソコンゲームに熱中している子も少なくはありません。でも、最近「飽きたよ」というメッセージを伝えてくる子も多くなってきました。パソコンゲームでは、自分の思いを一方向的に表現できるものの、感情の交流には繋がっていかない事もわかってくるのだと思います。そこで、昔からある言葉遊びが大切になってくるのだと考えます。「なぞなぞ」は聞く力が育ちます。「しりとり」などは言葉数を育てます。「リレー物語づくり」やイメージを広げる遊びは想像力を育てます。どんな言葉遊びでもパソコンゲームには無い、人と人との関わりの中で言葉が育まれます。短時間の使い方言葉で育てることができると思います。



ある調査では、豊かな会話がある家庭では、子どもの遊びもパソコンやスマホゲームから、会話のある遊びに変わり、そこから読書量や学習意欲の向上にも繋がったという報告があります。また、子どもが自信を持って行動できるようになったという報告もあります。豊かな会話は時間も大切です。でも、時間の量よりも内容だと思います。わずかな時間、言葉遊びを楽しんだりするだけで、子どもたちには楽しい時間になり、心も安定し、言葉も豊かに、温かい言い回しに繋がっていくようにも思います。

寒くなると、外での活動から家の中の活動が増えてきます。PCゲームも良いですが、時間を決めて行う事も大切です。また、ちょっとしたお手伝いの時間を作り、一緒に何かをしながら会話を楽しむ時間も持ちやすくなるかもしれませんね。

